

「世界の北海道」を目指して

—北海道総合開発計画—

平成30年9月14日

室蘭開発建設部管内へ「水土里（みどり）災害派遣隊」を派遣
～平成30年北海道胆振東部地震の災害対応について（第8報）～

函館開発建設部では、平成30年北海道胆振東部地震による被災地の応急対策を支援するため、以下のとおり水土里（みどり）災害派遣隊（農業農村災害緊急派遣隊）を派遣しますので、お知らせします。

また、地震災害の対応状況（第8報：9月14日13時00分現在）を取りまとめましたので、別紙のとおりにお知らせします。

1 水土里（みどり）災害派遣隊（農業農村災害緊急派遣隊）の派遣概要

派遣日	内 訳	派遣先
9月18日(火)	函館開発建設部 2名	厚真町、安平町

2 出発式

- (1) 日時 平成30年9月18日(火) 8時40分から
(2) 場所 函館開発建設部 1階ロビー
函館市大川町1番27号

<参考>

水土里（みどり）災害派遣隊（農業農村災害緊急派遣隊）は、農地・農業用施設が被災した際、二次災害や増破などの被害の拡大を防止し、より早期に復旧を行うために、被災現場等で、①初期情報収集、②緊急概査、③技術支援を行います。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部

防災対策官 千葉 誠 (0138)42-8170

広報官 花上 真美 (0138)42-7702

【水土里（みどり）災害派遣隊に関する問合せ先】

農業開発課長 佐々木 紀映 (0138)42-7647

函館開発建設部ホームページ <http://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>



【9月14日に派遣した散水車（給水装置付）】

平成30年北海道胆振東部地震の災害対応について（第8報）

1. 函館開発建設部の体制について

函館開発建設部 9月6日 03時08分 災害警戒体制 管内で震度5弱の地震が発生したため

平成30年9月6日 10時00分

「函館開発建設部 胆振地方中東部を震源とする地震による応援対策本部」設置

2. 地震（気象）の概要（気象庁発表）

- 発生日時 平成30年9月6日 03時08分頃
- 震源地 胆振地方中東部
- 深さ 37 km（暫定値）
- 地震の規模 マグニチュード6.7
- 各地の震度（函館開発建設部管内、震度4以上のみを記載）
 - 震度5弱 函館市新浜町
 - 震度4 函館市美原、函館市尾札部町、函館市大森町、函館市泊町、函館市川汲町、函館市日ノ浜町、七飯町桜町、七飯町本町、鹿部町宮浜、渡島森町御幸町、渡島森町上台町、渡島森町砂原、長万部町平里、上ノ国町大留、乙部町緑町、せたな町北檜山区徳島

3. 庁舎・宿舍の被害状況

- 異常なし

4. 所管施設等の状況

- 河川
 - 点検対象なし
- 道路
 - 函館IC～北斗茂辺地IC 異常なし
 - 函館IC～赤川IC 異常なし
 - 函館IC～七飯藤代IC 異常なし
 - 国道5号 異常なし
 - 国道278号 異常なし
- 港湾
 - 異常なし
- 漁港
 - うすじり
臼尻漁港（第3種、函館市）
 - 漁港施設：岸壁屋根部からの雨水排水管に亀裂が発生。漁業活動に直接の影響なし。
復旧方針は漁港管理者（渡島総合振興局）と協議中。
- 空港
 - 異常なし

○農業
異常なし

5. 自治体との連携・支援関係

(1) リエゾン派遣状況

渡島総合振興局 2名(9月6日)

函館市 2名(9月6日)

(2) 資機材の支援

八雲町 小型発電機10台

江差町 ソーラーパネル式蓄電池

上ノ国町 小型発電機3台

(3) TEC-FORCE派遣

被災状況調査班(道路班) 4名

応急対策班 2名

(4) 水土里(みどり)災害派遣隊

厚真町、安平町(予定) 2名

6. 災害対策用機械の派遣

(1) 照明車

函館市へ派遣(9月6日~9月7日)

江差町へ派遣(9月7日~9月8日)

(2) 散水車(給水装置付)

室蘭開発建設部管内自治体(9月14日)